

平成29年度 後期日程

『造形実技』出題の意図

第1問

建築を学ぶ上で必要となる立体的な空間を把握する能力、スケール感覚、表現する能力を検査する。4つの建物と道路からなる町並みを指定された視点から表現できるか、建物としての構成要素を理解しているか、また着色や陰影の表現ができるかという点が評価のポイントである。

第2問

建築を学ぶ上で必要となる複数の基本寸法からなる要素を立体的に組み合わせる能力を検査する。また、与えられたテーマに対する造形を創造し、創造した造形を表現する能力を検査する。さらに、創造した造形を指定された紙面に一体的に表現する構成力を検査する。また、造形に用いる主な材料を独特の風合いを持つ大谷石と定め、黒鉛筆の濃淡や線種で描画させることで、基礎的な表現力をあわせて確認する。